

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第 89 号 (2014. 8. 1)
事務局川西地区自主防災会

「仁尾小子ども防災リーダー」発足 子どもの視点で、避難場所の運営をシミュレーションする

三豊市立仁尾小学校
校長 山下 昌茂

避難場所として指定され、防災備品の倉庫を備える体育館完成の機会を生かした取組を始めました。

それは、「仁尾小子ども防災リーダー」の結成です。

昨年度までは、学校行事の中で学校側が設定したステージに子どもを立たせるものでありました。

今回はさらに一步前進させ、総合的な学習の時間の中で、個々の子どもがチームを組んで、より主体となる取組です。そしてその内容は、避難場所運営のシミュレーションです。

例えば、①備品倉庫には、何をどれだけ保管させれば良いのか ②毛布はアリーナにどのように配置させれば良いのか ③自治会毎にどう案内すれば良いのか ④何人収容が可能なのか ⑤受付の混雑を防ぐためには… ⑥1日のスケジュールは… ⑦ペットの扱いは… ⑧表示は…? 等の学びです。

学びの過程では、岩崎会長（川西地区自主防災会会長）から指導を受け、まちづくり推進隊仁尾からは、こんな子どもの活動を評価していただき、「仁尾小子ども防災リーダー」としての委嘱状と、特注のリーダー腕章を与えられました。責任の重みを感じる6年生の学びが継続されることとなりました。

以下、その学びの様相を紹介します。



全体の動きを現場で説明する



混雑を避けるための受付方法を紹介する



ペットの受付方法を紹介する



高齢者や妊婦・乳幼児等の特別室を決める



自治会毎の位置を決定する



自治会（区）毎のプライベートを確保する



一部屋に敷ける毛布の数を決定する



一部屋に入れる人数を決定する



受付方法の問題点を話し合う



倉庫に保管できる毛布の量を計算する



1日のスケジュールを決定する



これまでの学びの経過を確認する



岩崎会長からの講評を聞く



避難所運営計画の見直しの視点（今後の課題）を確認する



「まちづくり推進隊仁尾」の役員の方から「委嘱状」と特注の「腕章」を贈られる



「子ども防災リーダー」の腕章



「委任状」と「腕章」



全校朝会で「仁尾小防災リーダー」の紹介をする

食料のこと、水のこと、トイレのこと等、残された課題はたくさん見つかりました。次回、11月の発表に向けて、リーダーたちの追究が継続されます。地域の命を救うために・・・。

愛読者の皆様へ

かがわ自主ぼう連絡協議会 岩崎正朔

かがわ自主ぼうの会報をご覧になっていただき、ありがとうございます。少しでも香川県内の地域防災力向上に役立てばと思い、平成19年3月を第1号として、「会報」を発行。最近90号を発行させていただきました。

第1号発行当時は部数も25部でございましたが、現在は300部となっており、封筒へのあて名書きも大変な作業量となってきましたが、当面100号記念発行を目指して、事務局一同がんばっていきたいと思っています。

さて、東日本大震災から3年4ヶ月が過ぎ、国民全体がこの事について風化の傾向が強くなっていることは残念です。私自身、福島原発事故以降、家庭にあるエアコン（4台）すべて封印しております。電気に甘えた生活様式を少しでも見直し、資源のとぼしい日本の現状をしっかりと認識する必要があると強く思っています。

人口7,000人の街川西を引張っていく立場として、しっかりとした理念をもち、たゆまなく努力していく力が不可欠だと、自分自身に言い聞かせておるわけであります。ここでかがわ自主ぼう連絡協議会のPRをしておきますが、3年前から香川県の委託業務として「県内自主防災組織（自治会含め）」に対するフォローアップ事業を手がけており、遠慮なくご連絡いただければ幸いです。具体的に次のような業務を行なっています。



<フォローアップ事業>

1. 相談業務

会の運営、資機材の調達、助成制度、人材の育成等

2. 研修業務

10人～300人規模における座学
主体 東日本支援体験や大型台風、集中豪雨体験を加味した内容（1時間～1時間半）



3. 訓練業務

30人～500人規模において、体育館、公民館（駐車場含め）、自治会館、小中高校のグラウンドを活用して、防災訓練を行ないます。

「親切・ていねい」がモットー。更には、訓練用機材すべて当方で準備します。10種目位訓練カリキュラムを用意しています。



4. まちなか探検業務

よく知っている「まちなか」、しかし案外知られていないのが現状です。我がまちの危険な所や適正な避難路、更には、災害時に為になる設備等を地図と対比しながら、チェックを行ない、そのデータによって、手作りのマップ作りに活かします。

このまちなか探検のお手伝いも規模によって、5～15人位の指導者派遣を行なっています。



以上、防災に関すること何でも行なっています。
お気軽にご連絡下さい。（すべて無料です）

以上

連絡先 事務所（川西コミュニティセンター）

0877-28-5519

尚、お急ぎの場合は090-3186-5043（岩崎）まで

フォローアップ事業(8月予定)のお知らせ

8 / 9 (土) 10:00~14:00 防災キャンプ (丸亀市綾歌町)

8 / 16 (土) 10:30~12:00 小豆島町内 自治会長へヒアリング活動

14:00~15:30 土庄町 戸形地区自治連合会 防災研修

8 / 24 (日) 9:00~12:00 観音寺市 五郷地区 防災訓練

8 / 24 (日) 14:00~15:00 観音寺市 吉岡地区 防災研修

この他、各地区の「かがわ自主ぼう」の理事さんによって、諸活動を行っています。遠慮なくご連絡ください (0877-28-5519)。

編集後記

今月の防災減災の輪は、三豊市立仁尾小学校校長山下様より原稿を寄せていただきました。ありがとうございました。